

～ 毒があるのは雌（めす）で、咬まれると生命に影響する場合があります ～

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモに注意！

セアカゴケグモは、熱帯地方などに分布するクモで毒を持っています。平成7年に大阪府内で初めて発見され、その後、各地で確認されています。

愛媛県内では平成26年1月に愛南町で初めて発見され、松山市、今治市でも発見されています。

セアカゴケグモは攻撃性もなくおとなしいクモですが毒を持っていますので、見つけても絶対に素手で捕えないでください。また、車などに付着して運ばれ、発生していない地域でも見つかる場合がありますので、十分注意してください。

ハイイロゴケグモは、四国でまだ発見例はありませんが、関西・中国地方では、確認されています。

【生息場所】

巣をつくり、繁殖するために日当たりがよく暖かい場所、昆虫などのエサが豊富な場所、適当な隙間がある場所を好みます。

○側溝の内部やその網蓋のすき間 ○墓石のすき間
○フェンスの基部 ○花壇のブロックの内部 など

【駆除方法】

市販の殺虫剤を噴射するか、靴で踏みつぶす。

卵（卵のう：卵の入っているふくろ）は、棒きれなどでクモの巣ごとからめ取り、その場で焼却するか、ビニール袋に入れて完全に踏みつぶす。



《セアカゴケグモ》

【特徴】

- 成熟した雌の体長 約0.7～1 cm
- 全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。



《ハイイロゴケグモ》

【特徴】

- 成熟した雌の体長 約0.7～1 cm
- 色彩は腹部の背面が、真っ黒のもの。茶色、灰色を基調に斑紋があるものなど、さまざま。

【咬まれた場合】

針で刺されたような痛みを感じ、その後、咬まれた場所が腫れ、熱く感じたりする。症状のピークは3～4時間で、数時間から数日で軽快するが、時に脱力感、筋肉痛、頭痛などの全身症状が現れることがあり、病院で治療を受けることが必要。

～ 特定外来生物に指定されています ～

アライグマの目撃情報をお寄せください！

平成25年3月、西条市飯岡野口と丹原町高知でアライグマが確認されました。アライグマは特定外来生物に指定されており、全国的に農作物などの被害が問題となっています。香川県などの近隣県では生活環境、農林水産業へ大きな被害を与えており、県内でも四国中央市、新居浜市、東温市で侵入が確認されています。アライグマは一度定着してしまうと駆除が非常に難しくなるため、侵入初期段階での対策が必要です。

アライグマを見かけたり、農作物などの被害に心当たりがある方はご連絡ください。

【アライグマによく似た動物】



タヌキ



アナグマ

- しっぽの模様を確認してください。
- ほかにもハクビシンがよく似ています。



【特徴】

- しっぽに縞模様がある
- 眉間に黒い線がある
- 耳のふちが白い
- 細長い5本指の足 など



▲ 5本指の特徴的な足跡と足 ▼



▲ 器用に穴を開け食べた跡



▲ 気性が荒いので注意！

写真提供：株式会社野生動物保護管理事務所関西分室

【上記の生物発見時の連絡先】

- 市庁舎新館2階 環境衛生課環境係 TEL0897-52-1382
- 愛媛県立衛生環境研究所 生物多様性センター TEL089-931-8757